

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	薬物療法提供体制強化事業		担当部局庁	医薬食品局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度・平成25年度		担当課室	総務課		課長 鎌田 光明	
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-6-3 医薬品の適正使用を推進すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	日本再生戦略(平成24年7月31日閣議決定) 「ライフ成長戦略」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	抗がん剤など使い方が難しい薬を用いた治療や適切な服薬指導などを、誰もが安心して在宅で受けられるよう、薬剤師がチーム医療の一員として訪問や相談、情報提供をスムーズに行える体制を整備するなど、地域での適切な薬物療法を推進することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>実施主体である都道府県が地域の実情に応じて選択できるような形で基本メニュー及び個別メニューを国が提供し、モデル的な事業実施を通じて、地域住民に対する適切な薬物療法の推進・普及を図る。</p> <p>【基本メニュー】 関係業種が一体となった効率的な薬物療法の提供 【個別メニュー(ひとつ以上を選択)】 ①抗がん剤等在宅提供支援 ②地域に応じた在宅薬局体制確保 ③医薬品の適正使用の推進 ④その他、選定・意見交換会で認められたメニュー</p>						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算			40	0	
		補正予算					
		繰越し等					
	計				40	0	
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	薬に関する正しい理解を促進・普及し、適正使用を図るなど薬物療法の推進を図ろうとする事業であり、定量的な成果目標の設定は困難である。	成果実績		-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	補助事業件数	活動実績 (当初見込み)	施設	-	-	-	-
				-	-	-	(8)
単位当たりコスト	5(百万/箇所数)		算出根拠	40百万 ÷ 8箇所 本事業の補助金額÷補助箇所数 (平成25年度活動見込み)			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	衛生関係指導者養成等委託費	40	0	事業の廃止			
	計	40	0				

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	地域住民に対する適切な薬物療法の推進・普及を図ることを目的とした事業であることから、国民のニーズがあり、また国費により実施すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	地域の実情に応じて選択できるような形で複数メニューを国が提供し、地域住民に対する適切な薬物療法の推進・普及を図ろうとする事業であり、国において実施すべき事業だといえる。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	地域住民に対する適切な薬物療法の推進・普及を図ることを目的とした事業であり、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	—	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—	—	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—	—	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—	—	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—	—	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	—	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	—	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—	—	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—	—	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<p>「日本再生戦略」(平成24年7月31日閣議決定)において、「医療・介護サービスの基盤強化を図り、世界最高水準の医薬品・医療機器を国民に迅速に提供」すること、及び「より効率的で質の高い医療提供体制の構築を目指して、…地域医療の再生を果たす。」とされており、その工程表においても、「在宅医療の推進」や「チーム医療の推進」が位置付けられているところであり、本事業は当該戦略に基づくものである。</p>				
外部有識者の所見					
引き続き適正執行に努めること。「(長崎、井出)」					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	本事業は、地域での適切な薬物療法を推進することを目的とした事業であり、広く国民のニーズがあり、優先度が高く、効果的・効率的な執行となるよう努めるべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
廃止	日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定)において、「薬局を地域に密着した健康情報の拠点として、一般用医薬品等の適正な使用に関する助言や健康に関する相談、情報提供を行う等、セルフメディケーションの推進のために薬局・薬剤師の活用を促進する」とされたことを踏まえ、本事業内容を盛り込んだ新規事業(薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点推進事業)を要求することとしたことから、本事業を廃止とした。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年 新25-0024

厚生労働省
40百万円

【委託】

A 都道府県(8)
40百万円
【地域住民に対する適切な薬物療法の推進・普及】

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					